

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

放課後学童クラブを活用した 小学生への気候変動教育 プログラムの開発と指導員育成

学童保育等についての
ヒアリング調査

8回

学童保育等についての
アンケート調査

500人

活動の全体目標に
対する達成度

40%

プログラム試作開発ワークショップ

課題

女性の社会進出から今後拡大が見込まれる学童保育の場において、地球温暖化問題に継続して取り組める教育プログラムの存在は皆無に等しく、実施体制が整っていない。

活動内容

学童保育の場において、小学生低学年を対象に、地球温暖化防止への自発的な行動が普段の生活の中で当たり前になることを目標として、プログラムの構築及びツールの開発を行い、試行および展開の取りまとめを行うことを目標に、1年目である本年度は、小学生の放課後の過ごし方への考え方や、学童保育における現在の気候変動防止対策への取組状況を把握するための調査を中心とした活動を行った。



試作プログラムの開発

今後の課題

事業協力いただける学童保育の現場をさらに開拓予定である。また、子ども達が率先して繰り返しプログラムを行い、地球温暖化防止行動が「当たり前」という意識になるよう、引き続き内容を検討していきたい。

成果と工夫した ポイント



成果

学童保育の現場において、指導員は多忙な日常業務の中でも多様な取り組みを実施しており、また、環境に関するプログラムについては、96%の保護者がやらせたいと回答、期待度が高いことが示された。

工夫

子ども達と指導員が繰り返し取り組めるよう、夏休み学童保育での自由研究をテーマにプログラムを試作した。